

平成30年 2月

# 山本章裕 学位論文審査要旨

主 査 中 村 廣 繁  
副主査 稲 垣 喜 三  
同 清 水 英 治

## 主論文

Leukocytapheresis for the treatment of acute exacerbation of idiopathic interstitial pneumonias: a pilot study

(特発性間質性肺炎の急性増悪の治療のための白血球除去療法：パイロット研究)

(著者：山本章裕、橋本潔、山崎章、高田美樹、森田正人、舟木佳弘、岡田健作、  
照屋靖彦、福嶋健人、清水英治)

平成29年 The Journal of Medical Investigation 64巻 110頁～116頁

## 参考論文

1. Usefulness of pulse oximeter that can measure SpO<sub>2</sub> to one digit after decimal point

(小数点以下第一位までSpO<sub>2</sub>を測定可能なパルスオキシメータの有用性)

(著者：山本章裕、鰐岡直人、衛藤有利、網崎孝志、清水英治)

平成29年 Yonago Acta Medica 60巻 133頁～134頁

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は特発性間質性肺炎の急性増悪に対する白血球除去療法（LCAP）の有効性と安全性を検討したものである。急性増悪を起こした6例の特発性間質性肺炎患者にLCAP療法を実施した。6例中5例で30日生存や酸素化、画像所見の改善を認め、重篤な有害事象は認められなかった。本論文の内容は、LCAPが極めて予後不良で治療モダリティの少ない特発性間質性肺炎の急性増悪に対する安全かつ有効な治療法となる可能性を示しており、明らかに呼吸器学における学術水準を高めたものと認める。